腹腔鏡下鼠径ヘルニア修復術　　入院診療計画書

患者番号：
患者氏名：　　様

日付	入院日（手術前日）	手術当日		手術後 1日目	手術後 2日目（退院日）
		手術前	手術後		
目標	・手術の予定や注意事項が分かる	・不安なく手術が受けられる	・痛みが増強しない ・全身状態が安定している	・歩くことができる ・創部の異常がない ・退院後の注意事項について理解出来る	
内服	・持参された薬がある場合は 看護師に渡してください ・眠れないときはお知らせください				
注射	・点滴はありません	・痛みが強い時は、痛み止めを使用します ・午後に手術の場合は 午前中に点滴があります	・抗生剤と点滴があります（手術後1日目まで）		・点滴はありません
検査				・検査はありません	
処置	・お臍をきれいにします	・7時に浣腸をします ・弾性ストッキングをはき、 術衣に着替えます	・観察室で観察、ケアを行います ・心電図モニターを装着し、血圧・脈拍 ・体温を測定し、酸素吸入をします ・痛みの強い場合は鎮痛剤を使います	・朝、酸素・心電図モニターを外します ・身体をふき着替えた後に病室に戻ります ・検温は4回行います	
食事	・手術前日は流動食になります ・24時以降は絶食になります （24時以降は水・お茶・OS-1 ・ポカリスエットのみ飲水可能です）	・絶食です 飲水（水・お茶・ポカリスエット ・OS-1のみ）は（　　）時まで 可能です	・絶飲絶食です	・飲水可能です 昼から食事がでます	・朝食は全粥です 昼食から常食です
活動	・制限はありません		・安静ですが、寝返りはできます	・朝の洗面はベッド上でします	・制限はありません
排泄	・制限はありません	・手術前にトイレをすませましょう	・尿の管が入ります	・午前中に尿の管を抜き、 トイレにいけます	・制限はありません
清潔	・お臍をきれいにした後に 入浴しましょう			・身体を拭きます	・シャワーに入れます（入浴の 時期は医師とご相談ください）
説明	・手術の経過とケアに ついて説明します			★退院後の注意事項 ・創部の発赤や腫れがある時は外来を受診して下さい ・日常生活に制限はありませんが、激しい運動は控えて下さい	
その他	【手術に必要なもの】・バスタオル2～3枚（手術後枕が汚れないように引きます） ・タオル2～3枚（うがいの時に使ったり氷枕を巻いたりします）・歯ブラシ・歯磨き粉 ・半袖の前開きのシャツ（マジックテープ式）2～3枚・パンツ・汚れた物を入れる袋 ・ティッシュペーパー1箱・テープタイプのオムツ（売店で一個売りをしています）			★ご家族の方は手術が終わるまで病室、またはのデイルームでお待ち下さい（手術中は院内で待機していて下さい） ★手術終了時に家族の方には手術の説明が主治医よりあります （入院時に4階の説明室をご案内します）	

※これはあくまでも予定です。場合によっては予定通りにいかないこともありますので、ご了承ください　　福井県立病院　外科　腹腔鏡下鼠径ヘルニア修復術

主治医名　　担当医名　　主治医以外の担当者：看護師

管理栄養士　　栄養管理の必要性　有り　　リハビリ担当：

上記について説明を受けました　　署名　　ご本人以外の場合患者様とのご関係（　　）